

令和7年度 高齢者認知症等見守り及び声掛け訓練実施のご報告

日時：令和7年11月22日(土)午前10:00～

会場：木津川市役所4階会議室・市役所南公園

午前9時：スタッフ〔市高齢介護課・社協木津支所・きはだの郷・地域包括支援センター木津東・木津町区役員〕が、市役所4階会議室の会場に参集し、準備を始める。

参加者： スタッフ以外概ね20名〔児童1名〕

午前10時、開会挨拶： 田中木津町区地域長

目的説明： 高齢介護課より

スタッフ紹介；高齢介護課・社会福祉協議会木津支所・きはだの郷・
地域包括支援センター木津東・木津町区役員

講話： 相楽中部消防署

10時10分 講座：資料に則り、認知症に係る徘徊時の対応・気づきの第1歩
寸劇：認知症の方に対する声掛けの良い例、悪い例

10時30分 説明：みまもりあいアプリとSOSネットワークについて(高齢介護課)

11時30分 訓練：木津町区役員が疑似認知症患者の演技を務め、参加者に声掛けを
体験してもらった。 ～正午まで

11時45分 クイズの答え合わせ・振り返り・アンケート記入

12時10分 閉会：社協木津町区支部長 奈良
市福祉部 松下次長

総評： 当該訓練を通じ幅広く詳細にわたる分かりやすい説明をお聞きして、参加者の皆様も理解していただけた内容でした。

また、模擬認知症演技者に対し、声掛け訓練を行っていただき成果のある充実した訓練でした。

そして、副支部長の曾根様からポン菓子を70袋寄贈していただきました。

私見： 今までに認知症の内容について無知で識見が浅いため、主催者側として当該訓練の実施には不安がありましたが、説明をお聞きしながら理解も徐々に増し、不安は和らぎました。つい敬遠がちとなる当該訓練に挑み、認知症の方を見守ってあげなければと、心を新たにいたしました。

声掛けは、一般的な概念として難しい仕掛けだと思われがちですが、認知症の方だろうという先入観を持たずして、初対面同士の挨拶を交わすような気軽な声掛けからスタートして気心を知る手段もあるのかなと感じました。

令和7年11月22日

木津川市福祉協議会 木津町区支部
支部長 奈良 由雄